

華麗なセッション 観衆くぎ付け

長浜出身バレエダンサー徳田さん



田中さんの演奏に合わせて華麗な
演舞を披露する徳田さん(右)と長浜
市北船町のえきまちテラスで

えきまちテラスでミニ公演

米国で活動する長浜市出身のバレエダンサー徳田有紀さん(右)が二十七日、同市北船町の商業施設「えきまちテラス長浜」でミニ公演を開いた。ストリートピアノを使い、現地でペアを

組むピアノニスト田中理絵さん(左)と華麗なセッションを披露した。徳田さんは十歳からバレエを始め、二十歳で渡米。複数のバレエ団でプリンシパルなどを歴任した。田中

さんは高校卒業後に渡米し、多数の受賞歴がある。二人は二〇一八年ごろに出会い、クラシックの新たな表現を探索している。国内で演じるのは初めてで、六月に大阪で開く公演のプログラムから、ガースイーン「ラプソディー・イ

ン・ブルー」を披露した。田中さんが軽やかな旋律を奏で、徳田さんはピアノの周囲で伸びやかに舞った。びたりと息の合った演出で、延べ七十人の観衆の目をくぎ付けにした。

がってくる。芸術に国境はないと感じた」と話した。六月三日午後七時から、大阪府高石市のアブラたかいしで公演がある。大人三千円、学生二千円。團事務局090(3969)1499 (川添智史)

徳田さんは「国が違って観衆は同じ所で盛り上